

関東森林管理局入札等監視委員会審議概要

(Webサイト掲載日: 令和3年5月10日)

開催日及び場所		令和3年3月5日(金) 書面審議				
委員		橋爪 健 (弁護士) 武藤 善行 (公認会計士) 天笠 美由紀 (ジャーナリスト)				
審議対象期間		令和2年7月1日 ~ 令和2年9月30日				
審議対象案件		230件	うち、1者応札案件 108件 契約の相手方が公益社団法人等の案件			
抽出案件		5件 (抽出率 2.2%)	うち、1者応札案件 5件 (抽出率 4.6%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件			
抽出案件内訳	工事	一般競争		48件	うち 1者応札 31件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争		該当なし	
			工事希望型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
	随意契約		0件			
	業務	一般競争		32件	うち、1者応札案件 9件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型競争		該当なし	
			簡易公募型競争		該当なし	
			その他の指名競争		該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル		該当なし	
			簡易公募型プロポーザル		該当なし	
	標準型プロポーザル		該当なし			
	その他の随意契約		5件			
	物品・役務等	一般競争		141件	うち、1者応札案件 68件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争		該当なし		
随意契約(企画競争・公募)		該当なし				
随意契約(その他)		4件				
(特記事項) 落札率が高い案件、1者応札の案件を抽出して審議						
		意見・質問		回答等		
委員からの意見・質問、それに対する回答等		<p>○(A033治山工事)本件は災害復旧工事ではないが、災害復旧工事の場合、数多くの工事が地域内で同時進行するので業者は繁忙となり、資材や人件費は高騰するので、入札不調となる確率が高くなると思われる。本件の場合、高い落札率で2回目に入札が成立しているが、災害復旧工事について応札者の確保や予定価格の設定等において何か対策をとっているのか。</p> <p>○(B001林道工事)本件は、災害復旧工事であるが、公共工事の発注が多くぎりぎりの要員で現場を回しているはずの応札者が、代金額が低く利益も多くないはずの本件工事を100%落札率で落札し、引続き代金額が比較的高額のA033の工事に連続して応札し、しかも落札率が極めて高い。同一業者が、繁忙期に1社だけ連続して応札することの理由が明らかではない。</p> <p>○(B001林道工事)契約担当官等の<分析の入札の経緯について>の中に、入札不調の理由として聞き取りとありますが、これはどこ(誰)に聞き取りをして配置予定技術者が配置できないとの回答があったのでしょうか。</p>		<p>○本件につきましては、入札参加資格条件及び予定価格の設定のどちらについても、通常の工事と同様の対応しております。ご質問の災害復旧工事に関しましては、緊急性を考慮し、通常の入札公示期間よりも約10日ほど短くする等、対策を行っている場合もあります。</p> <p>○歩掛等については、すでに公開しており100%に近い価格を予想されることは考えられます。本工事が先行して発注しており、A033の工事は後発であるが比較的大きな工事であり、同様のコンクリート資材(コンクリート)を使用していることから、連続して受注することが合理的であったのではないかと考えられます。</p> <p>○令和2年2月3日の入札で、入札参加申請後に申請書の取下げが行われた際の理由です。</p>		

<p>委員からの意見・質問、それに対する回答等</p>	<p>○(B001林道工事)本工事について、落札率100%となっており、工事費内訳書では工種ごとに金額の違いがあるが、このように金額がピッタリ同じとなることは稀なのでしょうか。100%となった原因分析をもう少し詳しく教えてほしい。</p> <p>○(D023治山コンサル)治山工事に係わるコンサルタント業務の一般競争契約の単純平均落札率が85.6%であるのに対して、本件の落札率99.7%は相当高い。担当官等の分析によれば、落札率が高くなった原因として「過去の契約情報や歩掛を公表していること」とされているが、たとすれば他の契約の落札率も高いはずであり、本件が突出して高い理由の説明になっていない。原因の分析が不十分ではないか。</p> <p>○(J004収穫調査業務委託)応札者が1社になった原因について、管内各署より発注時期が遅れた、とあるが、当署が早期に発注していた場合、他署が同じ状況になった可能性が考えられる。担い手育成が重要ではないかと感じた。</p> <p>○(N016保安林整備)村上支署管内に林業事業者は5者あるとのことだが、物品役務契約(N016のほかにもN03、N015、N040、P035)は、応札者数や落札率にばらつきが見られるものの全て同一の者が落札している(引越し業務のP050は除く)。実質競争者数が2名であったN03、P035の入札経過はどうであったのか。</p>	<p>○歩掛等については公表しており、予定価格と同じになる事は、希ではありますが、十分に考えられます。予定価格の低い工事ほど100%になる確率は高いと考えられます。(一度積算して、予定価格の予想額を算出後、現地の資材価格に置き換えて再度積算したのではないかと推測します。直接工事費が高く、一般管理費が低いのはその影響と考えられます。)</p> <p>○契約担当官等の分析では「過去の契約情報や歩掛を公表していること」が原因とされていますが、予定価格に近い積算は他の案件にも該当するものであり、ご指摘のとおりであります。本件につきましては、現場条件や業務内容及び業務期間等を総合的に考慮し、会社として契約するメリットがあると判断した金額による入札金額であったと考えます。</p> <p>○委員のご指摘のように担い手の育成は重要であり、担い手の育成がなかなか進まない現状において、当局でも収穫調査のICT化に向け取り組みを進めているところであり、収穫調査のICT化研修会等を指定調査機関向けにも予定しており、調査の省力化、担い手の育成に取り組んでいるところです。</p> <p>○N003については、1番札61.8%、2番札が70.8%((株)遠州造林)P035については、1番札61.9%、2番札が97.9%((株)山嘉土建)との入札結果です。予定価格に対して、かなり低い落札率となっています。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>特になし</p>	

関東森林管理局入札等監視委員会苦情処理会議審議概要

開催日及び場所	令和3年3月5日（金） 書面審議			
委員	橋爪 健（弁護士） 武藤善行（公認会計士） 天笠美由紀（ジャーナリスト）			
再苦情申立概要	申立日	件名	契約方式	契約月日

	内容等 該当なし			
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答	
委員会による意見の具申又は勧告の内容				